

「第3章」の検討

2002/10/15 S.Sano

3. 構成

3.1 全体の構成(階層構造)

3.2 各階層ごとの構成

3.3 登場人物(エンティティ/プレイヤー)の機能, 権限, 責任. 実際の組織との対応

簡単な定義

- マネージャ
 - tierの管理責任,
 - 上位とのインタフェース
- レジストリ
 - レジストリデータベースの運用管理
 - DNS運用管理
 - マネージャに対する責任
 - 登録者に対する責任
- レジストラ
 - 登録管理業務
 - レジストリに対する責任
- DNSプロバイダ

- DNSの運用
- レジストリの業務代行

• 主官庁

- 個別のカントリーコードのオーソリティ
- 国内の番号計画のオーソリティ

• 認証エージェント

- 登録者の登録資格(ex. 本人認証, 番号の正当性, 登録情報の正当性)の認証業務

• アプリケーションサービスプロバイダ

- ENUM解決後のアプリケーション提供者(ex. 電話事業者, ISP, ASP)

• 既存電話事業者

- well defined

• 番号割り当て者

- 事業者番号割り当て者: 総務省
- 加入者番号割り当て者: 事業者(?)

オペレータENUMの場合

3. 構成

3.1 全体の構成(階層構造)

- ローカルなENUMの場合

- 事業者独自のDNS空間

☞ 共通に検討すべき問題はない(たぶん)

- グローバルなENUMの場合

番号割り当ての階層に対応したDNS階層管理が自然か

- Tier2: 事業者管理のENUM空間を管理するNS。(さらにサブ階層も)

- Tier1: 事業者のNSを束ねるNS

□ パブリックアクセスなら事業者共通データベースという考え

□ または、名前空間の一意性の確保

☞ ユーザENUMとの共存の問題、ユーザとオペレータのポリシーの衝突

- 空間のスピリット

- または、優先度による制御

3.2 各階層ごとの構成

グローバルなオペレータENUMの場合

- Tier1

- 事業者独立の構成/運用管理

(1) 1層の場合: 事業者NSまでを解決 (3)

(2) プレフィックスに対応した階層 (4)

- Tier2

- 事業者に対応したNS

- または、共通データベース、ユーザENUMを意識すると、事業者に非対応. (1), (2)

3.3 登場人物(エンティティ/プレイヤー)の機能, 権限, 責任. 実際の組織との対応

- Tier1

- マネージャ

- レジストリ

- レジストラ

- DNSプロバイダ

- 主官庁

- 認証エージェント

- アプリケーションサービスプロバイダ

- 既存電話事業者

- 番号割り当て者

- Tier2

- マネージャ

- レジストリ

- レジストラ

- DNSプロバイダ

- 主官庁

- 認証エージェント

- アプリケーションサービスプロバイダ

- 既存電話事業者
- 番号割り当て者

ユーザENUMの場合

3. 構成

3.1 全体の構成(階層構造)

- 事業者階層(番号割り当て階層)に対応した場合 (pros/cons は?)
- または, フラットな場合 (pros/cons は?)

3.2 各階層ごとの構成

(1) 事業者階層(番号割り当て階層)に対応した場合

(2) または, フラットな場合

- tier1が全NAPTRを登録 (1)
- tier1がNAPTRへのtier2 NS を登録 (2)

☞ 電話番号(電話番号管理)との対応づけの仕組みが必要

3.3 登場人物(エンティティ/プレイヤー)の機能, 権限, 責任. 実際の組織との対応

- マネージャ
- レジストリ
- レジストラ
- DNSプロバイダ
- 主官庁
- 認証エージェント
- アプリケーションサービスプロバイダ
- 既存電話事業者
- 番号割り当て者

